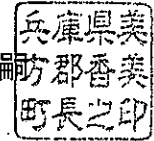


香建 第 64 号  
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

香美町長 藤原久嗣



国土交通省道路局／中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありましたみだしのことについて、  
下記のとおり提出いたします。

記

■今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 京阪神と但馬を繋ぐ大動脈的道路網の早期完成

高規格幹線道路「北近畿豊岡自動車道」につきましては、平成18年の「春日和田山道路」の全線供用開始がなされ、引き続き和田山から八鹿間が事業化されたことにより幹線道路網の整備に向かい大きく前進をしたことは喜ばしいかぎりであり  
ます。

今後は豊岡までの早期整備と合わせて、鳥取豊岡宮津自動車道の早期完成、  
国道9号線の改修を促進して、高規格幹線道路網の早期実現を望みます。

このことにより、観光資源豊富な但馬地域と京阪神都市圏が飛躍的に接近し、  
但馬地域の活性化のための基本的社会資本整備(交通ネットワークの構築)がで  
きることとなります。

(2) 但馬地域内道路網の整備

大都市圏との道路網に併せ、住民がより快適な生活を送るため、きめ細かい地域内道路網の整備を望みます。

#### ① 国道と県道の連携

- i) 社会生活に直結した経済圏内道路網を整備し、地域内交流を活性化させ、暮らしを豊かにする。
- ii) 但馬地域唯一の救命救急センターである豊岡病院と地域をつなぐ道路網を整備し、重病人やけが人を短時間に搬送し、住民の安心を確保する。
- iii) 被災時の迂回路として機能する道路網を整備し、災害に強い地域づくりを進める。

#### ② 県域をまたぐ広域整備

広域的な道路網、特に但馬北西部と鳥取県を結ぶ道路(国道482号等)を整備して、豊かな自然を生かした観光開発を促進していく必要があります。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

重点路線の選定による予算の投入により、早期完成を目指し、部分的であっても供用開始を行うことにより、地域住民の目に見える事業となり得ます。

社会資本整備が目に見え、利用することでそれを体感することは、住民の夢の発現(実現)であり、但馬に生活することを誇りに思い、生きがいを見出す一助となることと考えます。

但馬地域3市2町は、「交流と共生の理想の都」づくりを推進しているところでありますが、幹線道路網整備は「理想の都」の基盤であると言えるものであると考えます。

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

観光資源が豊富であるということは、自然環境が厳しいということと表裏を一体とするものです。特に冬期の積雪は全国の中でもトップクラスにあります。

本町(あるいは但馬地域)の冬期の主要産業である、スキー場やカニスキによる観光客の入り込みを確保することや、水産資源の物流の大動脈となる幹線道路を積雪

による障害から克服することは地域振興を考える上では避けて通れない大きな課題となっております。更にこれらの道路は、公共交通機関が十分備わっていない当地域においては、通勤通学だけでなく医療施設へのアクセス道路としての重要な生活道路の役割も果たしており、積雪の中での生活は大変な労力と費用を必要とします。

除雪体制、融雪設備を主要な幹線道路全線に整備し、どのような天候状態にあっても、円滑で安全な交通を確保することが、産業の発展と社会生活の維持に大きく寄与することになると考えます。